

組織・戦略

藤田 誠

1.担当教員の専門(研究領域)・現在の研究テーマ

従来は、経営戦略論における Resource Based View(RBV)の発想に基づき、企業の「組織能力」について研究してきた。これまでの成果は『企業評価の組織論的研究』(中央経済社刊、2008 年日本経営学会賞受賞)にまとめている。最近は、産業クラスターの競争力強化を企業の組織能力強化の観点から理論化することに関心を持っている。このテーマは、イノベーション、知識移転、知識創造、ネットワーク理論などとも関連しており、拡がりのあるテーマであり、実践的にも意義深いと考えている。

2 指導方針

当研究指導では、「実践的かつ理論的な思考様式の育成」を主な目標としている。現代は、グローバル化、情報化、競争の激化、サービス化、知識資本主義化などの進行により、従来とは異なる経営戦略とそれに呼応した組織の構築が求められている。指導では、こうした企業経営に関する基本認識を前提として、新しい時代に即応した経営戦略とそれにふさわしい組織のあり方を、実践的かつ理論的に考察出来る思考力育成を目標とする。

指導においては、内外の文献・資料のサーベイが基本になることは、いうまでもない。しかし文献サーベイだけでなく、定量的および定性的な研究方法のトレーニングも重視する。とくに、修士論文作成のプロセスにおいて、研究方法あるいはリサーチ・デザインを意識した指導を行うことで、修士課程修了後に、ゼミ生が遭遇するさまざまな問題を解決する能力を高める訓練の場としたい。

3 学生に対する要望・その他

修士論文のテーマは各人が選ぶので、素朴なもので構わないから自分なりの問題意識を持っている人が望ましい。また、定量的分析手法あるいはインタビューなどの定性的研究方法に関心がある者も歓迎する。